くみあいNEWS

第１５２８３号
2022年3月31日(木)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

第５３期 第９回中央委員会報告

【日時】３月３０日（水）１７時１５分～１８時１５分
【出欠】出席７７名　委任２４名　欠席０名　１０１／１０１名
【議長】内匠屋議長

Ⅰ．報告事項
１．上部団体会議報告
・第１３回中央執行委員会
・中央労使協議報告
３／２４　事務説明「住宅融資制度における提携金融機関の改定について」
３／２４　事務説明「２０２３年度入社予定の採用について」
３／２８　経営委員会「２０２２年度第１四半期生産計画について」
３／２９　団体交渉・労使協議会「労働協約および関係諸協定の改訂について（その６）」
２．箇所労使協議報告
３／３０　団体交渉「２０２２年度時間外及び休日労働に関する協定について」
３／３０　経営委員会「２０２２年第１四半期経営委員会」
３／３０　経営委員会「２０２２年４月度生産計画について」
３／３０　労使協議会「２０２２年度１／四期要人員計画について」
３．ＡＰ２２春季取り組みにおける総合組合の回答について
４．ＡＰ２２春季取り組みに関する支部会議結果報告
５．第２回政治活動委員会報告
６．割引契約施設との契約内容変更について

Ⅱ．協議事項
１．「第９３回メーデー」への対応について

Ⅲ．審議事項
１．タブレット端末の貸与に関する件（案）

Ⅳ．その他
１．４月度日程について

報告事項６件
異議なく承認
協議事項１件
審議事項１件
満場一致で可決・決定

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します

第９回中央委員会　組合長挨拶

中央委員会の閉会にあたり、山本組合長よりＡＰ２２春季取り組みの回答に対する受け止めと、今後に向けた課題認識の共有等について挨拶を行いました。

中央委員の皆様、ご安全に。

本委員会へのご対応、大変お疲れ様でした。議長から許可を頂きましたので、私から皆様にお礼とお願いをさせて頂きます。

その前に、新型コロナウイルス感染症の第６波が全国的にピークアウトしており、日常生活への影響が若干緩和されたようですが、会社ならびに行政機関からの方針に基づき、労働組合としましても適切な感染対策を継続して参りますので、引き続きのご理解とご協力をお願い致します。



山本組合長

さて、ＡＰ２２春季取り組みについてですが、日本製鉄労連が昨日の第６回団体交渉において会社回答への妥結を表明しました。

和歌山労組として今次交渉へ臨むにあたり、まずは２年前のＡＰ２０における賃金改善要求に対する会社からのゼロ回答、コロナウイルスの影響が甚大であり日増しに悪化の一途を辿っている日本製鉄を取り巻く環境、その危機的状況を乗り越えるべく代休特別取り扱いや臨時休業の実施ならびに時間外・休日労働のゼロ化に向けた取り組み、何よりも生活水準の低下を我慢しながら各部門において操業・整備・品質を支えてくれている組合員皆様のご尽力等、こうしたマクロ的な観点を執行部・支部にて共有してきました。

そのうえで、日本製鉄労連への対応として、昨年１２月のＡＰ春季取り組み討論集会では、和歌山組合員の心情を踏まえ積極的に参画してきました。また、２月の中央委員会においては、職場の実態や賃金改善に対する組合員の大きな期待を込めて執行部から意見を披瀝しました。さらに、２月末のＡＰ春季取り組み決起集会において、組合会館前に集って頂いた３００人を超える仲間とともに、基幹労連職員の村田きょうこ氏をお迎えして組合員のパワーを結集、３月初旬には箇所長申し入れとして副所長へ要請書を提出するなど、組合員の大いなる期待に応えるべく、執行部・支部の役員は可能な限り全力で対応してくれました。

そして会社回答はご案内の通り、基本給への財源投入を含め、２２年度３，０００円、２３年度２，０００円と２年で５，０００円の賃金改善、定期昇給および仕事給の更改額を合計すると１万円近い賃上げを勝ち取る結果となり、複数年での交渉を始めた１９９８年以降で最高額の回答が示された訳です。

一方、日本製鉄は２０１２年１０月の会社統合以降、最高となる８，０００億円の連結事業利益見通しにあるものの、短期的な社会・経済の変化に対する経営施策、その先にあるカーボンニュートラルという未知なる挑戦、まさに「言うは易く行うは難し」であります。しかし団体交渉において会社が「ここ２年間の取り組みは、労使が手を携え気持ちを揃えて力を尽くせばどのような難局も必ず乗り越えられるという一つの証左である」と発言しています。よって、我々和歌山地区においても、生産設備構造対策の一部実行をすでに経験し、４月からは中径製管工場、中径製品工場、継手試験サービス室それ

ぞれのシフトダウン、一部設備の生産調整休止、業務移管など、黒字化への新たな施策に臨まなければなりません。特に、海南および尼崎地区への操業応援ならびに操業整備習熟技能研修にご協力頂く方、シフトダウン後の安定操業を託される方など、これら中径シームレスに直接携わっておられる方々のみの課題ではなく、安定した出銑・出鋼による母材供給、設備トラブル回避に向けた計画的なメンテナンス、品質確保による順調な出荷など、オール和歌山で、労使・直協一丸となって、職場を守りながらも正念場を必ず乗り越えるべく「攻め」の観点で組合員の皆様とともに頑張って参らなければならない、そのことに尽きると思っていますし、そのような決意を共有させて頂きたいと願うところです。

いずれにしましても、我々のＡＰ２２春季取り組みは幕を閉じることとなります。これまで耐え忍んできた対価として、また将来不安を少しでも払拭できる成果として、満額回答に期待された組合員のご意見も伺っておりますが、交渉というのは一方的な主張ではなく、労使双方が合意するための対話であります。今次交渉は、会社・組合の双方がお互いの立場を明確に尊重した上で、真摯かつ柔軟な団体交渉を積み重ねてきた建設的な結果です。

満額回答は今後のテーマとして引き継ぎながらも、今次取り組みは労働組合として組合員の皆様から総合的には「満点」を頂ける価値があるものと受け止めております。回答内容は組合員の心情を十分に踏まえた会社の強いメッセージであり、労働組合としましては組合員の皆様とともに安全環境防災を中心とした安定生産を継続し、製鉄所の活性化に努めて参る所存です。執行部と支部の強固な連携で２０２２年度も邁進して参りましょう。

最後に、ＡＰ２２春季取り組みへの参画にあらためてお礼を申し上げます。中央委員の皆様におかれましては、今後とも労働組合へのご理解とご協力を心からお願い致します。

ご安全に。

ＡＰ２２春季取り組みに関する支部会議結果報告

和歌山労組は連合会より示されたＡＰ２２春季取り組み収束方針（案）に基づき、支部会議にて職場の意見集約を図ってきたところであり、その結果について以下に報告します。

１．実施期間　　２０２２年３月１８日（金）～３月２５日（金）
２．実施回数　　１０１回（２４支部）
３．参 加 者　　１，５０４人

今回、１０１回の支部会議を開催し、半数を超える組合員出席のもと意見集約を実施した結果、会社回答に対しては概ね満足であるとの声が最も多く挙げられました。また、賃金改善に向けた継続した取り組みに対する期待の声が寄せられました。上記意見を踏まえ３月２８日開催の第１３回中央執行委員会おいて、和歌山労組としての意見提起を行ってきたところです。

最後に、今次回答に対する会社の期待に応えるべく「総合力世界No.１の鉄鋼メーカー」の実現に向け、乗り越えていかなければならない課題に対し、引き続き、組合員一人ひとりが持ち場・立場で自らが果たすべき役割に責任をもって、もう一段の努力をしていくことをお願いし、支部会議結果報告とします。

支部役員皆様の取り組みに敬意を表します。
ご参加いただいた組合員の皆様ありがとうございました。

第９３回メーデーへの対応について

第９３回メーデーが開催されることから、和歌山労組として下記のとおり対応します。

１．和歌山地区

（１）日　　時　２０２２年４月２４日（日）１０時００分～１１時００分
※スタンディングアピール　　９時００分～１０時００分

（２）場　　所　和歌山城「砂の丸広場」

（３）規　　模　３００人　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小開催

（４）次　　第　１）開　会　挨　拶　２）議長選出挨拶　３）実行委員長挨拶
４）来　賓　祝　辞　５）祝電メッセージ披露　６）特別決議（案）
７）スローガン（案）確認　８）メーデー宣言（案）採択　９）議長退任・挨拶
１０）ガンバロウ三唱１１）閉　会　挨　拶

２．堺地区

（１）日　　時　２０２２年５月１日（日）　１０時００分～１０時３０分

（２）場　　所　フェニーチェ堺　大スタジオ

（３）規　　模　４，０００人（フルオンライン参加）

（４）次　　第　１）開　会　宣　言　２）主　催　者　挨　拶　３）来　賓　挨　拶
４）祝　電　披　露　５）参院選特別決議（案）　６）メーデー宣言（案）
７）団結ガンバロー

割引契約施設との契約内容変更について

株式会社職肉屋より「本格焼肉職肉屋」の店舗閉鎖に伴い、同社が運営する「あかみ屋、あかみ屋ＨＡＮＡＲＥ」に契約を変更する旨、申し入れがあったため下記の内容にて契約の変更を行います。

会 社 名	株式会社　職肉屋	和歌山市友田町２丁目９６
契約店舗	あかみ屋	和歌山県田辺市湊９－２０
		TEL：０７３９－３４－２０２９
	あかみ屋ＨＡＮＡＲＥ	和歌山県和歌山市友田町２－９６
		TEL：０７３－４８８－２９１７
契約内容	飲食代金より１０%割引（他割引券併用不可 ）	
利用方法	清算の前に組合員証を提示し割引優待を受ける	
契約期間	２０２２年３月３０日～	



あかみ屋 HANARE



あかみ屋